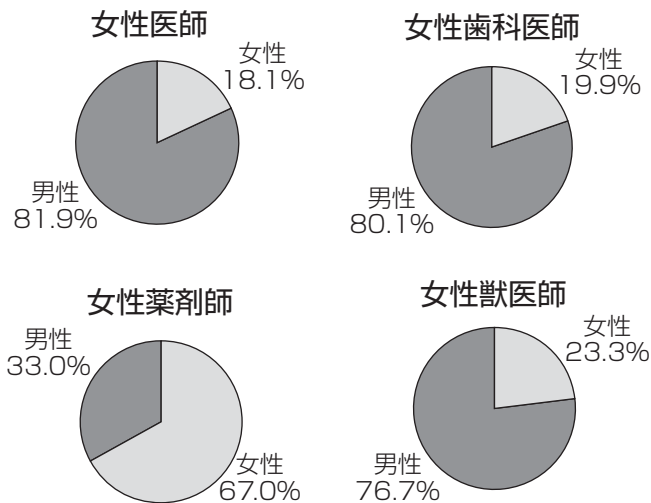


医療の分野

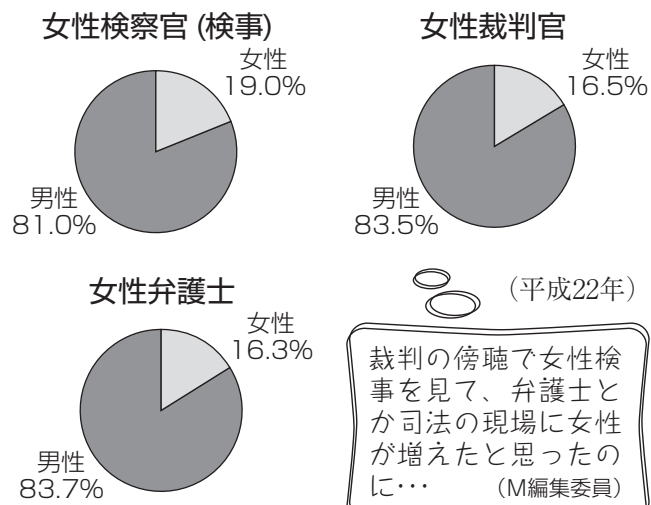


日本医師会役員に占める女性役員……3.3%
 日本歯科医師会役員に占める女性役員……0%
 日本薬剤師役員に占める女性役員……7.3%
 日本獣医師会役員に占める女性役員……0%

近くのお医者さんは女医さんが多いので、18%しかないのにびっくり!
 (K編集委員)

(平成22年)

司法の分野



裁判の傍聴で女性検事を見て、弁護士とか司法の現場に女性が増えたと思ったのに…
 (M編集委員)

(平成22年)

スポーツ団体の分野

日本オリンピック委員会役員に占める女性役員……7.4%
 日本体育協会役員に占める女性役員……3.4%
 (平成22年)

なでしこジャパンの活躍が記憶に新しいけれど、スポーツ界の女性役員はごく少数なのね。
 (S編集委員)

意思決定の場に参画すること

平成22年度の全国労働雇用者の女性の占める割合は42.6%と過去最高となりました。男女共同参画社会基本法が施行されて12年、あらゆる分野で活躍する女性が増えています。女性の政策・方針決定の場への参画度をデータでみると「ここまで進んだ」「まだこの程度」「今からに期待！」などどんな感想をもたれるのでしょうか。

平成23年7月現在、全国で26人の女性首長が就任しています。全国初の女性市長が誕生したのは今から20年前、平成3年(1991年)の兵庫県芦屋市でした。平成14年(2002年)には、兵庫県尼崎市で全国6人目の女性で最年少の市長が誕生し、さらに尼崎市では昨年の12月に日本初の女性から女性へ市長のバトンタッチがなされたところでした。

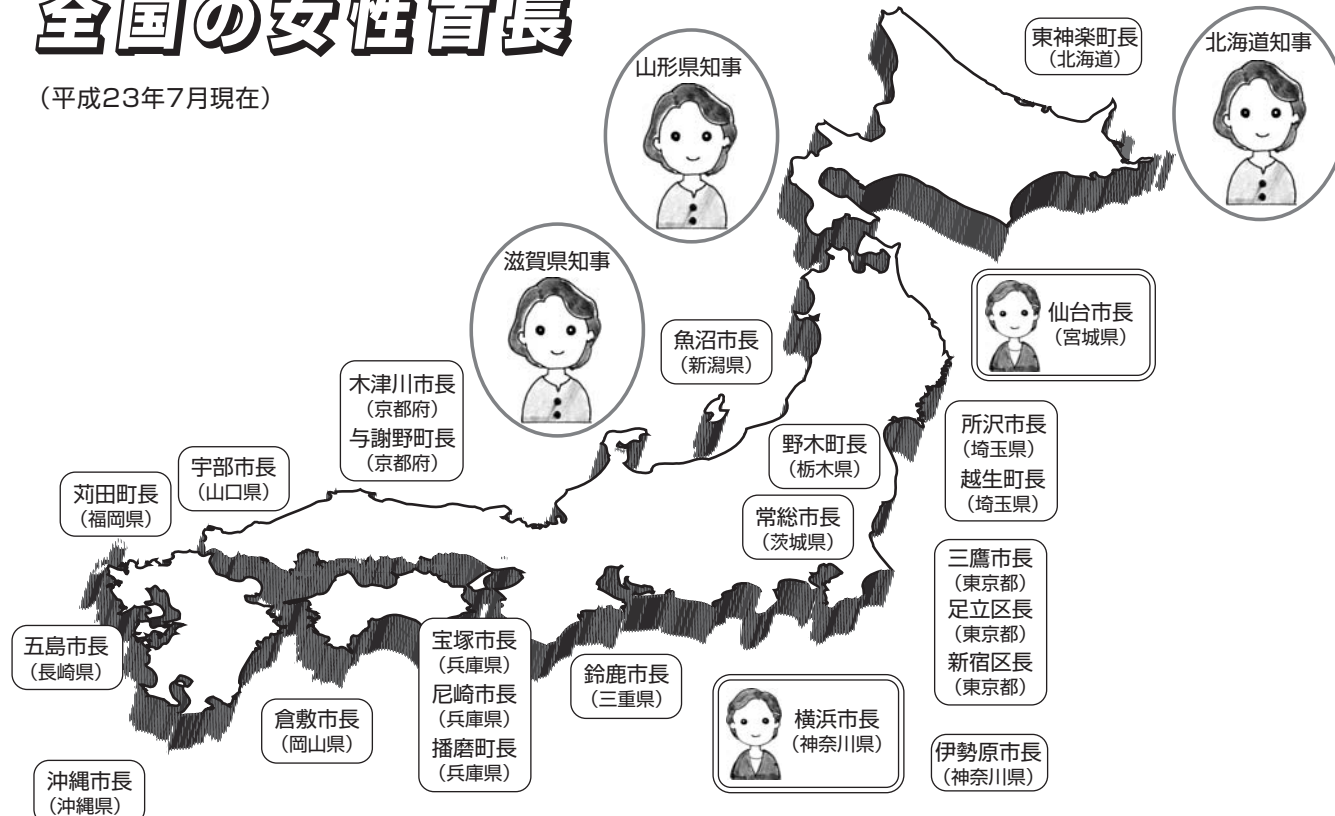
北海道、山形県、滋賀県の知事、仙台市、横浜市の政令指定都市や東京都23区の足立区、新宿区に女性のトップが就くという状況は、今や、女性のリーダーが珍しくないものにも思えます。けれども、全体でみると、全国47都道府県のうち女性知事は3人、その割合は全体の6.4%です。全国809市区のうち女性市長・区長が就任しているのは17市区、その割合は2.1%、全国937町村のうち女性町長はわずかに6人、0.6%にすぎません。全体の割合からいえば「まだまだ途上」かもしれませんが、女性首長ゼロを解消してきた20年の

歩みは、数字上からは読み取れない女性の参画度が「ここまで進んできた」のではないのでしょうか。

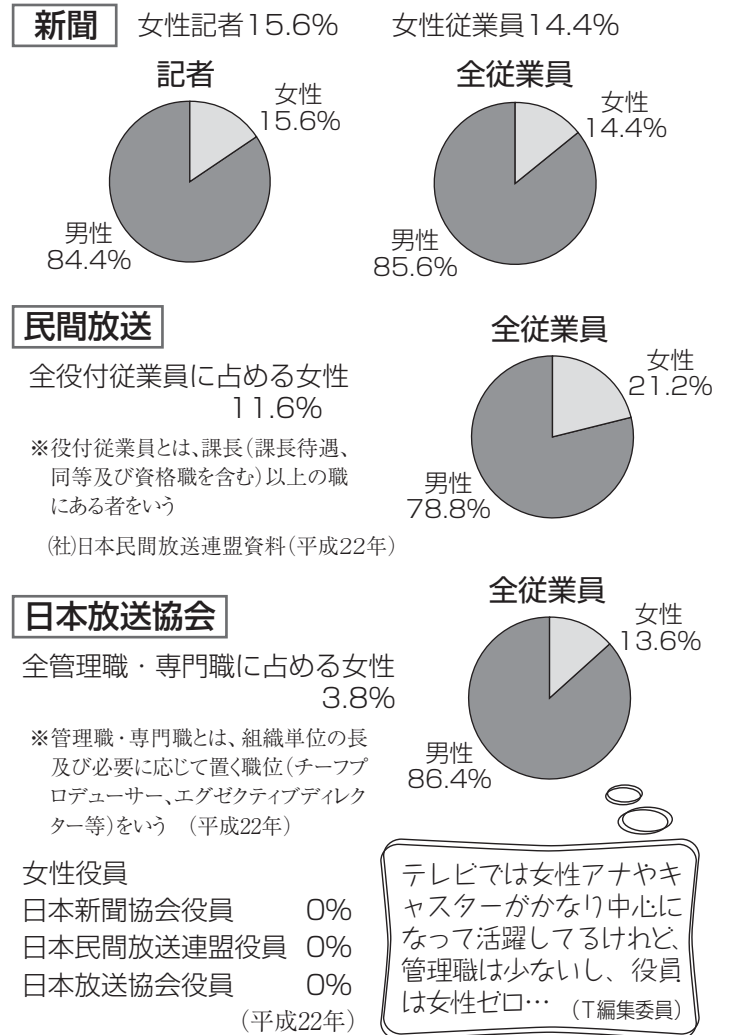
地方議会で活躍する女性についても同様のことがいえるでしょう。平成22年12月31日現在、都道府県議会では女性議員ゼロの議会は1議会のみとなりましたが、市区議会では、809議会総数のうち57議会は女性議員のいない状態です。町村議会となると、全体の937議会のうち4割近い議会で女性の議員がまったくいないのが実情で、まだまだ地域や社会に女性の意見が吸い上げられやすい状況だとはいえません。人口の約半分を占める女性の代表が意思決定の場へ参画するのは自然のながれです。暮らしをみつめ、子育て、教育、介護などの地域の問題にかかわる女性が、まず身近な生活の場から意見を発信して意思決定していくようになってほしいと思います。政策・方針決定の場に女性が一人もいない状況を解消し、女性が参画しやすい環境を整えていきたいものです。

全国的女性首長

(平成23年7月現在)

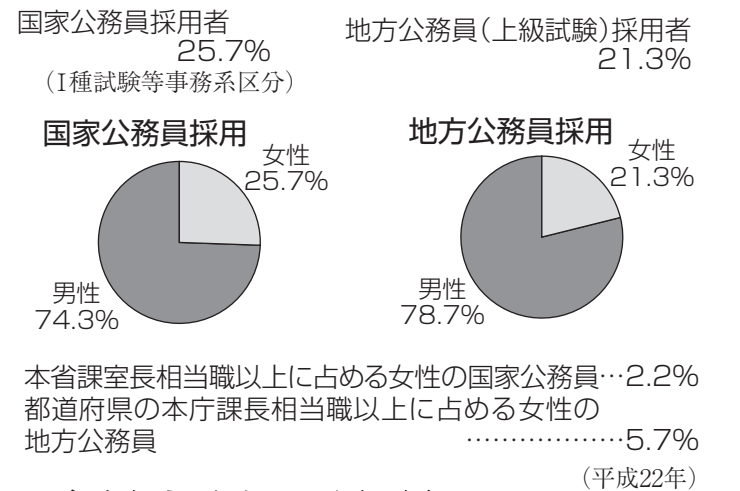


メディアの分野



テレビでは女性アナやキャスターがかなり中心になって活躍してるけれど、管理職は少ないし、役員は女性ゼロ…
 (T編集委員)

公務員の分野



民間企業の分野

